

OLD DAYS



ひたすら走る、
いつかと同じように。

第41回
びあフィルムフェスティバル
コンペティション部門
PFFアワード2019 観客賞

第5回
新人監督映画祭
中編部門
準グランプリ

カナザワ映画祭
期待の新人監督2019
入選

門真国際映画祭
2019
門真市長賞

門真国際映画祭
2019
最優秀賞助演男優賞

第20回
TAMA NEW WAVE
ある視点 入選

第22回
ブエノスアイレス国際
インディペンデント映画祭
招待作品

高野春樹 末松暢茂 小田哲也

奥津裕也 沖原一生 實川阿季 尾崎崇史 松田翔 二階堂辰太郎 三浦京介 管勇毅 中村有

監督・脚本：末松暢茂

プロデューサー：山本高 袴田光 アソシエイトプロデューサー：佐藤理人 監督・脚本：末松暢茂 助監督：相羽浩行 撮影：中嶋淳志 池田圭 録音：菊池秀人 坂上賢治 編集：松山圭介 ヘアメイク：竹島健二
スチール：高橋葉 グラフィックデザイン：中井厚志 車両サポート：WING BONDS 劇中音楽：HIROKI Hidetoshi Nishihara エンディング曲：MAGIC [ブラッディ・マリーの夜] レコード会社：株式会社 徳間ジャパンコミュニケーションズ
ロケーション協力：CLUB IVY バブボサノバ 読売新聞 久喜店 千葉県南部漁港事務所 東安房漁業協同組合 ヘアサロン高橋 萬来 幸手店
SPECIAL THANKS：橋本一郎 萩原靖之[WING] 大道寺俊典[剣武会] 板垣雄大 武久周平 長野憲太 大島勇気 エム・エンターテインメント テクニカランド HOTEL GREEN CORE Bike Produce WING 幸手櫻會 旧車會 太田将之 MAJOKEI family
2019/日本/カラー/ステレオ/51分 配給：袴田光



よくある暴走族映画なのか？不良のエンタメなのか？

いや違う、友情の物語である。

INTRODUCTION

舞台は埼玉県幸手市。実在する暴走族「幸手櫻會」に監督自らが入念な取材を重ねて脚本を完成させた。従来の暴走族や不良映画のイメージを根底から覆す視点とリアリティに拘った描写で新しい暴走族映画を作り出している。どこか懐かしさを感じさせる世界観、キャストも実際の暴走族だったかのような演技でオリジナリティー溢れる作品となっている。

本作を監督するのは、福岡インディペンデント映画祭でグランプリを受賞するなど評価を得ている末松暢茂。大阪西成あいりん地区のスラム街に生きる若者を題材とした「TORE」、北アルプスの麓で生きるマダギと少年を描いた短編「ハルとロウ」などがあり、独自の世界観を表現し続けている。

メガホンを取った末松は、主演も務める。海外からの評価も高く、出演作にアレハンドロ・ゴンサレス・イニャリトゥ監督「バベル」やマイケル・マン監督「TOKYO VICE」(HBO Max / WOWOW)などがある。他キャストには「ケンとカズ」で印象的な演技を見せた高野春樹や小田哲也など個性豊かな俳優が名を連ねている。本作で高野春樹が門真国際映画祭最優秀助演男優賞を受賞。

第41回ぴあフィルムフェスティバルPFFアワード2019、門真国際映画祭2019など国内外のインディペンデント映画祭、国際映画祭を席卷してきた本作、満を持して劇場公開。

STORY

東京のクラブハウスで働くカズヤ。漁師をしているソウジ。埼玉の地元でキャバクラのボーイをするトモキ。元暴走族の3人はそれぞれの日常を送っている。

ある夜、工作中客同士の些細な揉め事に巻き込まれたカズヤが、突然東京を飛び出し地元へと帰る。その日は偶然事故で亡くなった友人・マコトの命日であった。カズヤ、ソウジ、トモキの3人が久しぶりに再会をし、かつての青春時代に向かっていくかのように走り出す。

